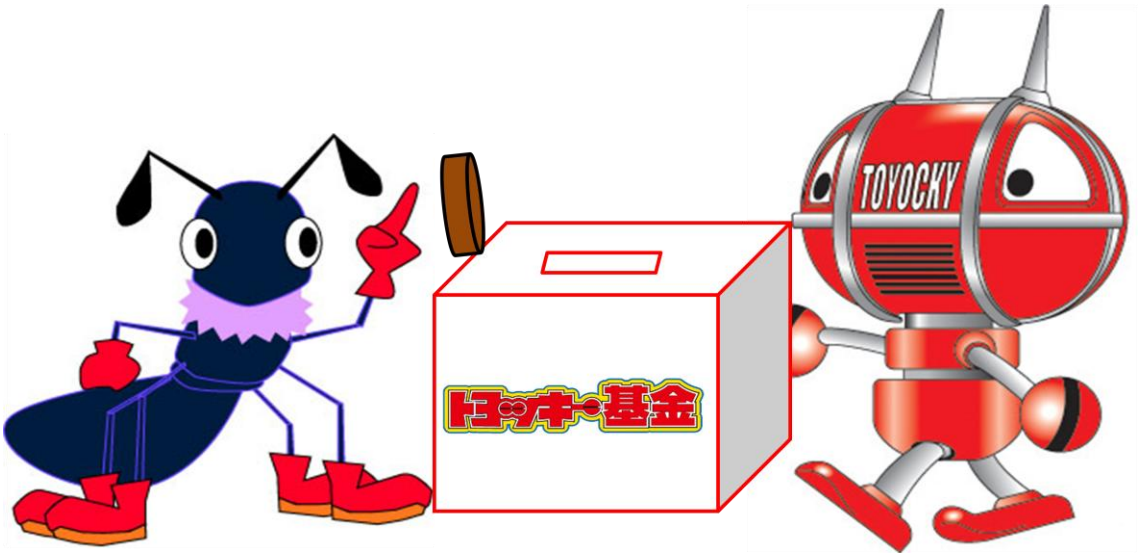
豊橋市市民協働推進補助金
平成25年度事業報告資料



【アーリーくんがトヨッキー基金に寄附してくれたお金はどう使われるのでしょうか？】
（裏表紙に答えがあります）

豊　橋　市

目　次

補助金の種類	団体	事業	頁
つつじ	おしゃべりの集い“絆サロン”	おしゃべりの集い“絆サロン”	1
つつじ	子どもを守る目＠東海	みんなで考えよう児童虐待 「やさしい花」上映会＆講演会	2
つつじ	特定非営利活動法人　てのひら	視覚障害者の日常生活が より良くなるための機器展	3
つつじ	スポーツ・レクリエーションサポーター 豊橋・緑の会	皆でいい汗かこう。カローリングで。	4
つつじ	ＷＲＡＰ　ＶｉＶｉ	WRAP（元気行動回復プラン）！！ ~明るく元気に過ごす！自分のための取扱説明書~	5
つつじ	石巻西川町カタクリ山保存会	明日も咲かそうカタクリの花	6
つつじ	ＲＩＮ　ＲＩＮ！豊橋アレルギーっ子の会	食物アレルギーの臨床と食事指導の講演会	7
つつじ	Ｔｅａｍ　Ｈａｎａｈａｎａ	地域における生活課題解決のための場所・イベント ・教育プログラムの企画・運営の試み ~花園ベース：ＨＡＮＡＣＯＹＡを拠点として	9
くすのき	二川・大岩まちづくり協議会	灯籠で飾ろう二川宿	11
くすのき	特定非営利活動法人 フロンティアとよはし	めざせ、日本のお仕事人～外国人生徒キャリア教育事業～	13
くすのき	いむれ花いっぱい運動協議会	「殿田川等花いっぱい運動」 「旧東海道松並木沿い花いっぱい運動」	15
くすのき	LOVE　PORT　TOWN　実行委員会	LOVE　PORT　TOWN オクトーバーフェスト	17
くすのき	東三河視覚障害者自立支援協会　ビギン	白杖の使い方講習会　レベルアップ	18
くすのき	あにまるあいず	野良猫を減らし、街づくりを行う。 猫の殺処分頭数を減らす。	19
くすのき	特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター	第６回ゆいフィールコンサート	20
くすのき	特定非営利活動法人　たすけあい三河	第４回市民後見フォーラム	22
くすのき	豊橋外国人児童生徒教育研究会	外国人の子どもの教育支援	24

補助金の種類	団体	事業	頁
ハード	石巻山・紅の会	僕ひとり、まず一歩！夢見る夢夫紅葉の遊歩路を！	25
ハード	花園街づくりネットワーク	花園コミュニティ施設整備事業	27

・つつじ補助金　設立後 5 年未満　補助率 10/10　上限 5 万円
・くすのき補助金　設立後 2 年以上　1 回目　補助率 2/3
2 回目　補助率 1/2
3 回目　補助率 1/3　3 回とも上限 30 万円
・ハード補助金　設立後 2 年以上　補助率 85～90%　上限 85 万円

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

つつじ

事業名等	おしゃべりの集い“絆サロン”
団体名	おしゃべりの集い“絆サロン”

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	城山町は高齢化が他地区に比べ高く、高齢者（70 歳以上）の一人住まいや高齢の夫婦のみの世帯が多く孤立化が目立ち近所付き合いも希薄です。気楽に集まっておしゃべりなどで絆づくりをした。 更に暮らしや健康に役立つ情報を分かりやすくお届けしています。 原則として月に２回、毎月第２木曜日、第４木曜日の午前中に開催。（９月・12 月・１月は自治会の行事他の都合で月１回） ・開催日数　21 日 ・参加者数　のべ 509 人 ・開催時間　各回とも 10:00～11:45 ・開催場所　城山町集会所 総事業費：　113,824 円　（内補助金：　50,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	当初は参加者を集めるのに苦労をしたが、参加者がお友達、ご近所の方と同行していただけるようになってきた。 チラシ（ポスティング）はあまり効果がないが、気長に続けている。 自治会の回覧板にはスタート時より掲載している。ゆうゆう会（老人会）は毎月１回、会報を全会員に配布している。 役員による個別勧誘が一番効果があり、ピンポイントで月に３・４軒実施している。 町の中が明るくなったように感じるし、挨拶もよく見られる。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	スタートして１年６カ月、参加者が固定化しつつあるので新しい参加者を動員することを具体化したい。有効手段は役員による個別訪問以外にはない。市営住宅の取り壊しのため、５月に市営住宅の方が多く転居するのできめ細かく勧誘をする（市営住宅の約３０％が転居予定）。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	みんなで考えよう児童虐待「やさしい花」上映会&講演会
団体名	子どもを守る目@東海

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	我が子に手をあげてしまう若い母親とその親子に手を差し伸べる 1 人の女性の物語「やさしい花」の上映会&講演会。 映画上映後、講師の方にいろいろな視点からお話しいただきました。 ・日時　　平成 25 年 11 月 9 日（土）14 時～15 時 30 分 ・参加者数　6 名 総事業費：47,538 円　（内補助金：47,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	名古屋からご参加いただいた方が「友達が来たがっていた。子育てに興味や意見を持っている人たちも多いので、一緒に観れる機会を作りたい」とおっしゃっていました。 地域を越えていろいろな世代の方が子育てに関心を持っていただけるようなつながりができたと思います。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	近隣地域の多数の他イベントと重なり集客が非常に難しかった。 次回開催時は日時を決定するにあたり、その辺りを見越したリサーチをしたいと思います。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

つつじ

事業名等	視覚障害者の日常生活がより良くなるための機器展
団体名	特定非営利活動法人　てのひら

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	視覚障害者の日常生活用具（音声色彩判別装置など）、及び舗装具（白杖など）を取り扱う各種業者に出展を依頼し、各出展企業の担当者に機器の内容、操作の仕方などの説明をしてもらうと共に、障害者に実際に手にとってもらい体験してもらう。 豊橋会場：総合福祉センターあいトピア ７月 13 日　9:30 から 13:00 まで　来場者 67 名 総事業費：　64,375 円　（内補助金：　50,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	視覚障害者にとって日常生活用具や舗装具は、当事者の生活をより豊かにするため必要と考えられるが、仮に新たな機器が開発されたとしても、それらに触れながら説明を受け、日常生活に有効な機器であるかどうかを判断する機会は非常に少なかった。ことに病気や事故などによる中途失明者は、情報を得る手段すら持たない場合も見受けられる。 今回来場された方の中にも、中途失明のため視覚障害者用の機器について十分な情報を得ていなかったケースが各会場に数件ずつあった。実際に機器を操作し、説明を受けた当事者やその家族からは「また本が読めるようになる」「これからは自分でできる」と喜びの声を多く聞いた。 また、福祉に携わる職業やボランティアの方からは「視覚障害者へのサポートについて、様々な方法があることを知った」という意見があった。 今回この機器展を通じて、視覚障害という独特な障がいの理解がより深まったものと考えられる。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	福祉機器は常に開発が進んでいるため、当事者や支援者から定期的に最新の情報を得たいと望む声が多く寄せられた。このような状況から、継続的に機器展を開催し、有効な情報提供をするとともに、より多くの企業に働きかけ、法人の理念に賛同を求めてゆきたいと考える。 また、事業の開催について更に幅広く告知をし、情報から孤立している視覚障害者が、機器について十分な知識を得られるよう努力する。同じく事業の開催を広く告知することで、一般の人だけでなく児童生徒の福祉教育の場になるよう取組みを進める。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	皆でいい汗かこう。カローリングで。
団体名	スポーツ・レクリエーションサポーター　豊橋・緑の会

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	下記の会場で、各地の自治会・老人会・子供会などの団体に呼びかけ参加者を募り、カローリング・バッコー・アジャタなどのニュースポーツを皆で楽しんだ。 ①25 年 9 月 28 日(土)　芦原小学校体育館　参加者数(老人会)52 名 ②25 年 11 月 3 日(日)　芦原小学校体育館　参加者数(子供会)52 名 ③25 年 12 月 8 日(日)　杉山小学校体育館　参加者数(老人会)24 名 ④26 年 3 月 2 日(日)　　大村小学校体育館　参加者数(三世代)32 名 総事業費：37,132 円　（内補助金：32,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	参加した人は、日ごろ話をする機会が無いらしく、会が終了してもすぐ帰らず、また、休憩時間にも話が弾んでいる様子が見られた。 勝つためにチーム内で協力しあって、会話ができたり、終了後の片づけや掃除にも力を出し合っていた。 今まで話をしたことがなかったが、この機械のおかげで話ができるようになったと、報告があった。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	「広報とよはし」にも掲載していていただきましたが、開催の要望は現在はありませんが、各地の住民の親睦と運動習慣のきっかけにできればよいと考えて、売り込みをしたいと思います。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

つづじ

事業名等	WRAP（元気行動回復プラン）！！ ～明るく元気に過ごす！自分のための取扱説明書～
団体名	WRAP　ViVi

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	1「WRAP1 日コース」 2013 年 6 月 8 日(土)　参加者 5 名　場所さくらピア ２「WRAPViVi 勉強会と WRAP クラス」 2013 年 8 月 10 日(土)　参加者 6 名　場所カリオンビル テーマ：わが国の精神医療と精神障がい者支援の歴史の概要、退院促進事業、地域で生活する精神に障がいのある方の支援の現状について」 3「土屋徹先生の講演会」 2013 年 10 月 26 日(土)　参加者 11 名　場所カリオンビル 4「平松先生講演会」 2013 年 12 月 14 日(土)　参加者 8 名　場所さくらピア テーマ：年金制度について 5「WRAP2 日クラス」 2014 年 2 月 8 日(土)・9 日(日)　参加者 6 名　場所さくらピア 6「介護保険に関する勉強会」 2014 年 3 月 8 日(土)　参加者 5 名　場所カリオンビル 総事業費：93,631 円　（内補助金：50,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	【事業の成果】 WRAP だけでは興味を持っていただける方が少ないと思われ、SST（人付き合いの練習）、社会保障や介護保険などの勉強会も企画した。 WRAP クラスは今まで体験クラスや 1 日クラスしか行っておらずWRAP の概要の説明と数個のテーマを体験していただいていただけであった。しかしながら、今回は 2 日クラスも行い、WRAP のすべてを紹介でき修了証も発行することができた。 参加者からは「WRAP2 日クラスの一連の流れを体験できて、よりWRAP に対する理解が深まってよかった」「WRAP ファシリテーターになりたいと思った」「自分の卒論の研究テーマとしていきたい」「職場で WRAP をしているので今後も勉強会に参加して仕事に活かしていきたい」などという感想があった。さらに今後も WRAP 勉強会に参加していきたいと希望をして下さった方も数名であるがいた。WRAPを紹介し、WRAP に興味を持っていただける方を増やしていきたいという目的は少しではあるが果たせたと思われる。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	【今後の取り組み】 WRAP、SST、社会保障制度についての勉強会に興味を示された参加者が多くあった。次年度もこれらを中心に勉強会の企画をしていく予定である。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

つづじ

事業名等	明日も咲かそうカタクリの花
団体名	石巻西川町カタクリ山保存会

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	カタクリ球根を雑草や風水害から守り、生育時には日当たり、風通しを良くし、適度な肥培管理し、地域の宝であるカタクリ山を持続的に保全していく。さらに、地域の活性化を図るための手法の１つとする。 平成２５年９月から平成２６年３月までの間、カタクリ山では毎月約１回の活動をしました。活動内容は、雑草の刈り取り。枝の伐採、斜面の保全、遊歩道の整備等です。延べ４０人の参加でした。 チラシを西郷校区市民館、石巻地区市民館、JA 豊橋北支店に置かさせてもらいました。地元西川町には各戸に配布しました。カタクリ山では、竹筒にチラシを入れ自由に持って行ってもらいました。 総事業費：　58,000 円　（内補助金：　50,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	草刈り、枝の伐採等の作業により会員の輪が広がり、これからの活動がしやすくなった。カタクリ山の整備ができ、一部通行止めにより今まで登れなかった遊歩道が通行できるようになり、多くの見学者に来てもらえるようになりました。 会設立時は会員８人でしたが、現在は１１人になりました。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	これからの課題は、カタクリ山の場所の案内、駐車場の案内、仮設トイレの設置などがあります。またチラシの配布方法、配布場所があります。 今後の取り組みとしては、斜面の崩落部の復旧、排水路の整備があります。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	食物アレルギーの臨床と食事指導の講演会
団体名	RIN　RIN！豊橋アレルギーっ子の会

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	食物アレルギーの新しく正しい情報を学べる勉強会を実施した。 開催日時：平成 26 年 1 月 12 日 場所：豊橋市民病院　講堂 参加人数：136 名　講師・スタッフ・関係者：26 名 豊橋市民病院小児科・あいち小児保健医療総合センターアレルギー科医師の杉浦至郎先生による「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応」の講義と豊橋市保健所こども保健課、豊橋市教育委員会保健給食課、私達患者会の活動の取り組みについて紹介した。 その後のディスカッション・質問時間では、参加者からの質問に杉浦先生や保健給食課、こども保健課の方にお答えいただき、参加してくれた開業医の先生や渥美病院の小児科医師、また愛知小児保健医療総合センターの管理栄養士さんなどからもコメントをいただいた。さらに、参加者と一緒に練習用のエピペンで実演指導も行った。会場では、アレルギー関連の冊子、食品などの見本展示や試食も行った。 総事業費：51,402 円　（内補助金：50,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	予定参加者人数 70 名に対し、参加者 136 名であり、予想を大きく上回った。食物アレルギーに関する関心の高さを感じた。 食物アレルギーを取り巻く環境や、治療は、この数年で大きく変化しており、今回の勉強会で、最新の情報を得ることができたと思う。 アレルギー児を持つご両親からは、我が子の現状が不安で負荷試験も必要かどうか専門医を受診したいと患者会に相談があった。 また、アレルギーに対する災害時対策の必要性についても知っていただけた。 食物アレルギーを持つ児と関わる、医療ー行政ー患者とつながるきっかけや必要性を知っていただき、アレルギー児が安心して生活できる街づくりの一歩となったと思う。

今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	今回の勉強会では、参加者も多く子供連れも多かった。子供が小さいときこそ悩みも多いと思うので、講義を受け少しでも不安が軽減できたらと思い、親子で参加しやすい勉強会を企画した。しかし、子供が多かったことと音響の悪さから会場後方では、講義が聞こえにくいとのことだった。また。活動紹介の時間配分の悪さから最後の保健給食課が駆け足状態になってしまった。 アンケート結果からも食物アレルギーへの関心の高さは感じたので、今回の反省や課題を踏まえ、今後も年に 1 回程度の公開勉強会を継続していくことの必要性を感じた。来年度のくすのき補助金も申請し、今回の課題を改善し、さらなる充実した勉強会の企画を検討していきたい。そして、今後も医療－行政－患者が連携をもって、アレルギー児がより住みやすい安全な社会環境を築いていけたらいいと思う。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	地域における生活課題解決のための場所・イベント・教育プログラムの企画・運営の試み ～花園ベース：HANACOYA を拠点として
団体名	Team　Hanahana

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	少子化、核家族化、地域の人間関係の希薄化などにより、子どもも大人も多世代の人と関わって育ちあう機会が減っている。本事業では、子どもや親、多様な背景を持つ多世代が学び育ちあえるようなプログラムやイベントの企画・運営を、花園ベース：HANACOYA にて試みた。 ◆10 月 13 日(土) 英語寺子屋：小学生のためのハロウィーンパーティー！ ◎参加者数：小学生 12 名　中学生 8 名（サポーター） ①専門講師による英語を使ったアクティビティ（ハロウィンとお盆の話、ゲーム） ②トリック or トリート（花園商店街でお菓子集め。中学生が小学生を引率） ③中学生が企画・運営する「こわい部屋」体験 ④ハロウィンの工作 ◆12 月 21 日(土) 花園商店街 HANACOYA 発！クリスマスハッピーデー ◎参加者数：60～70 名ほど（コンサートのみ） 街角コンサート（午前・午後）の企画・運営（①ユース・オーケストラ、②マザーアースクワイア、車椅子のボーカリスト寺島祥史）、及び全体的な企画・準備・当日運営面（豊橋技術科学大学渋谷先生と学生有志、NPO てら、高校生による地域防災組織 LDPO、ユースのボランティアのコーディネート等）で商店街をサポート。 ◆1 月 25 日(土) Toyohashi の音楽家によるコンサート　となりのクラシック ◎参加者数：31 名 ①第 1 部　クラシック音楽の歴史について分かりやすい解説を交えて 5 曲を演奏 ②第 2 部　ゲームを交えながら参加者のリクエストによる 3～4 曲を演奏 ◆3 月 15 日(土) 絵本から学ぶセミナー ◎参加者数：11 名 小中高校生、教育現場従事者を含む社会人など多世代の参加者が、自分と他者の違いを認め助け合って生きていく、そのために大事なコミュニケーションや予備知識について、専門的な知見とともに絵本を通して学びあった。 総事業費：98,921 円　（内補助金：50,000 円）

事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	◆英語寺子屋 「楽しい」「お盆との比較が面白かった」など好評を得た。サポーターの中学生の創造性、自主性、後輩を指導する世代性などが発揮された。 ◆クリスマスイベント HANACOYA を起爆剤に多分野の多世代がつながり、商店街が活気と楽しさがあふれる交流と学びとイベントの場となり、まちが賑わった。 ◆クラシックコンサート 「親近感が持てて楽しかった」「音楽史がわかりやすかった」「また来たい」など好評。音楽と楽しむきっかけにしたい演奏者の思いが通じた。 ◆絵本から学ぶセミナー 多世代で生き方について学ぶことができた。全体として、育児中の主婦や子供など若い世代が商店街に立ち寄る機会となった。 商店街におけるイベントやプログラムの特色や意義を出すことができた。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	【課題】 支出に見合った収入を確保するための工夫、資金調達が必要である。 【今後の取り組み】 英語寺子屋、絵本セミナーは、目的をもった多様な学習プログラムの一つとしてすでにシリーズ化し展開中である。クリスマスイベントのやり方をモデルに新年度の花園商店街のイベント開催が決定している。コンサート後、よりおもしろい音楽の体験と学びのプログラムとして学校や地域での提供を検討中。 今後は HANACOYA を拠点に、幼小中高大や地域の人材と連携し、商店街や地域性を活かした新たな時代に対応した学びや地域活性化活動の展開をめざす。プログラムやイベントの信頼性と妥当性を構築、事業モデル提案、NPO 法人化をめざす。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	灯籠で飾ろう二川宿
団体名	二川・大岩まちづくり協議会

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	1.期間　平成 25 年４月１日～8 月 20 日 灯籠点灯日　７月 27 日 2.場所　豊橋市二川・大岩町　旧東海道二川宿街並 二川駅～二川町東町　1,500 メートル 3.内容　2,500 基余の灯籠を旧東海道二川宿の街並両側に並べ点灯する。 施行箇所は車両を遮断して歩行者天国方式を採用する。 灯籠は以下のものを使用した。 ・木製角灯籠　二川中(200)、東部中(29)、 マイ灯籠（一般）(628)、 協賛者灯籠(110)、補助灯籠(40) 計　1,007 基 ・竹灯籠　二川小(437)、二川南小(579)、谷川小(105) 計　1,121 基 ・ペットボトル灯籠 二川幼稚園(71)、二川東保育園(36)、 希望が丘幼稚園・保育園(115)、 花園幼稚園(80) 計　302 基 ・その他灯籠　計約 150 基 合計　約 2,600 基 4.市民等の見学者　12,000 人 総事業費：　1,117,590 円　（内補助金：　300,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	今回、二川だけでなく二川南・谷川の二川中学校３校区と連携しながら実施した。その結果、今まで以上に３校区の繋がりが出来てきて良い結果が残せた。 二川校区においては、自治会主催の盆踊りが同時間帯に実施されたが、昨年よりも数倍の参加者があったとのこと。二川南校区においては、自治会等が灯籠イベント等を身近に感じるようになって以来、二川南校区からの協力的な意見や働きかけが出てきていると感じた。 昨年より広い地区での開催を働きかけたので旧東海道沿いの街並みの人々との交流ができた。保育園・幼稚園・小学校・中学校の参加もあり、父母・祖父母が多く街道に出てきてくれて三世代の会話が多く聞こえた楽しいひと時となった。またこの事業により多くの住民の参加をいただいたことでいろいろイベントにも積極的に参加してもらえるようになってきた。 今回、市民に灯籠を購入していただき、自分自身の灯籠を作成していただくことで事業に積極的に参加を促す「マイ灯籠」制を導入したことで多くの市民が訪れるきっかけを作った。

今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	今回、第２回目で旧東海道二川宿沿い（1,500m）に灯籠を並べることができた。この結果、12,000 人以上の見学者が訪れた。 今後は、灯籠個々の質の向上を図ると同時に各種イベントを街道沿いの各所で展開し、見る祭だけでなく味わい・聞くなど五感を刺激する参加型イベントへと発展させていき、併せて広報活動も積極的に多くの媒体を使いもっと多くの市民に参加していただけるイベントとしていきたいと考えている。 また、地域の住民には灯籠を並べたり、灯籠を点火したりするなど多くの参加する機会を作り、地域住民みんなで作り上げていく祭へと発展させていきたい。 さらに多くの地元企業や商店にも積極的に働きかけ資金面の協力をお願いしていきたい。 そうしたことを念頭に、来年７月 26 日（土）の「第３回灯籠で飾ろう二川宿」開催に向けて今後、準備を進めていく。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	めざせ、日本のお仕事人～外国人生徒キャリア教育事業～
団体名	特定非営利活動法人　フロンティアとよはし

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	○夢をかなえるワークショップ （10/29・11/11　参加人数：市立高校 15 人・中央高校 10 人） １．私の興味関心のある仕事は？ ２．どの仕事にどの教科が関係ある？ ３．外国人生徒の特性を活かす生き方・働き方 これらについて講師の説明を受け、生徒自身が自分自身の棚おろしをする。その上で自身の特性や適性を見出し、自身の就職について考える。 ○先輩の話を聞く （11/6/・11/22　参加人数：市立高校 14 人・中央高校７人） 自分たちの「人生の先輩」である外国人市民の方から自らの生い立ちや日本語習得の苦労、進学や就職について話を聞く。また、その仕事を選んだきっかけや働き方を聞くことによって、日本で働くということ、将来を考える上で大切なことを学ぶ。 総事業費：　712,590 円　（内補助金：255,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	「ワークショップ」に参加した生徒達は、自分の適性を理解できるようになったり、就職に向けての情報を手に入れることができたなど、前向きな感想を述べていたものが大半だった。さらに、今、学習していることに意欲的に取り組み、就職に向けて頑張っていきたいという姿勢を感じることができた。 「先輩の話を聞く」に参加した生徒は、自分たちの「母語」で体験談を聞くことができたため、目を輝かせて講師を見つめ、話に真剣に耳を傾けている姿勢が非常に印象的だった。講師の話から、自分たちも頑張れば「母語」や自身の『日本語習得法』を活かした仕事に就けるという可能性や、ブラジルの大学のカリキュラムを日本で学べる方法を知ることにより、彼ら自身の選択肢を広げる手助けができたのではないかと感じている。

今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	中央高校では、１年次から専門の業者に依頼をし、このようなキャリア指導を行っている。外国人の生徒も日本人の生徒と同じように指導を受けているとのことだった。もっと外国人生徒に特化し、専門性の高いセミナーでなければ、次年度以降に実施は厳しいとのご指摘をいただいたので、次年度以降は内容を見直し、新たなセミナーを提案できるように検討したい。 次年度以降も継続予定であり、今年度オファーできなかった私立高校へ新たな内容のセミナーでの提案をしていきたいと考えている。そのための助成金の申請も現在検討中である。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	「殿田川等花いっぱい運動」 「旧東海道松並木沿い花いっぱい運動」
団体名	いむれ花いっぱい運動協議会

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	事業計画として提案した内容は以下記載の通りで、概ね計画通り実施することができました。殿田川の南北両側の沿線と旧東海道松並木沿線に年 3 回に渡り、延べ 10,500 鉢の草花を植栽しました。事前に本協議会や熱心なボランティアの皆さんによって雑草を刈り苗床を耕し、水や肥料等を施しました。町内会や各種団体の協力を得ながらチラシ配布等によって住民参加の呼びかけを行い、実施日には本協議会のメンバー中心となって推進し、参加した町内役員や住民の皆様と一緒になって 530 活動と花の植栽活動を展開しました。期間の間、冠水等の苗床の維持管理のための諸活動を行いました。 実施日としては、平成 25 年 5 月 19 日、9 月 22 日、12 月 21・22 日の 3 回に渡って朝 8 時から実施しました。 当日は、各町からそれぞれ住民 300 名程度、全体で 1,000 名近くの方々が植栽場所（殿田川沿線、旧東海道沿線）に集結し、作業を展開しました。 総事業費：548,783 円　（内補助金：300,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	事業をしていく段階では、住民全体への呼びかけ効果もあり、普段見慣れない方々も加わり笑顔で共同作業をする場面が見受けられました。また、小さなお子さん連れや家族みんなで参加しているところもありました。もちろん、役員をはじめボランティアに積極的に参画してくださる方々が、熱心に集団をリードしてくださっていたこともあって、参加者を一定方向に導く上に運営自体もスムーズに運んでいました。 全体としては、当初計画にあった①街の環境美化、②青少年の健全育成、③新しい街でのふるさと意識の醸成、④まちづくりへの住民参加の意識の高揚などの目的は確実に前進していると思われます。 校区・町住民の市民活動、住民活動への参加意欲への波及効果はとても大きく、結果、行政活動への理解と参加を促していく可能性が益々拡がっていくものと思われます。

今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	事業を実施する事前の段階で小学校とも相談し、児童生徒達の参加をどうのように促していくかなどの呼びかけや参加促進策も練られました。休日の行事であることから強制はできないものの、事業が行われていることやその結果綺麗なまちづくりが推進出来ていることは、子供たちの間でも少しずつ知れ渡っているものと思われます。 平成 18 年度に始まった花いっぱい運動も、その組織的活動のスキームが出来上がり、住民意識も恒例行事としてすっかり定着しています。 事業成果にも記載したように、子供連れ、家族連れで参画したり、事前の諸準備にも関わってくださる方々も自然に増えていくようにさらに導いていく必要性を感じています。 地味ですが、やはりまずは末永く事業が実施されることで、住民の中に郷土意識が目覚めていき、温かい気持ちが蓄積され、住民参加がさらに拡がっていくことに間違いなく繋がるものと確信しています。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	LOVE　PORT　TOWN　オクトーバーフェスト
団体名	LOVE　PORT　TOWN　実行委員会

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	【スタッフ会議】 13 時から全 21 回開催 場所：ライフポート豊橋　会議室 【事業概要】 実施日：平成 25 年９月 22 日（日）・23 日（月・祝） 実施時間：11 時～17 時（両日） 実施場所：ライフポート豊橋 総入場者数：12,000 名（両日合わせて） 総事業費：3,000,000 円　（内補助金：300,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	開催場所を昨年のシーパレスリゾートから移動して、初めてライフポート豊橋で開催しました。集客面で不安はありましたが好天にも恵まれ、昨年より多くの方に足を運んで頂きました。これも当実行委員会が６年間「港」を発信し続けた結果だと自負しております。 開催場所をより港に近づけたことで、ご参加いただいたお客様にはより身近に「港」を感じて頂けたと思います。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	今後は事業で「港」の発信と同時に、企業や施設の誘致活動や国や県などにも積極的にコミットしていき、三河港・東三河を盛り上げていきたいと思います。 また、NPO 法人格を取得して活動の幅を広げていく予定です。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	白杖の使い方講習会　レベルアップ
団体名	東三河視覚障害者自立支援協会　ビギン

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	あいトピア研修室において、平成 25 年 6 月 9 日に歩行訓練士を招いて、白杖歩行の講習会を開催し、歩行技術のスキルアップを行いました。 参加者：35 名 介護事業所の職員の方も参加も多数あり、高齢の視覚障害者の方への介護についても勉強できました。 総事業費：70,536 円　（内補助金：30,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	歩行訓練と昼食をはさんでのグループディスカッションを通じて、視覚障害への理解を深めることができました。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	視覚に障害がある高齢者が増えていて、介護を担当している方が、どのようにサポートしていいのかわからず、不安を感じていることが明らかになった。 今後は、介護の現場をイメージした講習会も必要だと感じた。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	野良猫を減らし、街づくりを行う。猫の殺処分頭数を減らす。
団体名	あにまるあいず

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	４月 14 日、サイエンスコアにてタラートチャオに参加して、パネル展と譲渡会と講演を実施。 豊橋市保健所の依頼により、こじか保育園、牛川東保育園、くるみ保育園にて、「動物ふれあい教室」に協力。 動物愛護デーにほいっぷにて「動物ふれあいコーナー」に協力。 豊川市のドッグサロン、岡崎市の動物病院にて、譲渡会とパネル展を 15 回実施。 猫の保護数・行政からの引取頭数　18 頭。 猫の譲渡頭数　17 頭。 野良猫の不妊・去勢手術頭数　30 頭。 総事業費：1,252,408 円　（内補助金：300,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	サイエンスコアでのイベント参加、動物愛護デーでのイベント参加、毎月の譲渡会は、この活動を知っている人・知らない人にも、啓蒙の場になったと言える。 行政と相談した結果、今年度は離乳した子猫は行政が頑張って生かして譲渡し、当会は１００％殺処分となる乳飲み子を主に引き取ることになった。小さいほど手元にいる期間が長いため、行政からの引取数は、予定していた頭数より少ないが、殺処分を免れた頭数は、現時点で過去最高だと聞いているので、結果的には良かったと考えている。 野良猫の不妊・去勢手術予定頭数は、今までの平均に基づいて算出したが、予定頭数より少なかった。しかし、予定していた地域で、確認した猫のすべての不妊・去勢手術が終わった。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	保護や引き取りに関しては、頭数を抱えれば抱えるほど、金銭面の問題が出てくるので先を見越して、手元に置く犬猫の頭数を調整しながら、長期的に継続できるようにしていく。 野良猫の不妊・去勢手術は、ボランティアだけでやるのではなく、餌をあげている人や見つけた人が実施できるようにしていきたい。 また、行政と話し合いの場を設け、どう連携していくのがお互いによって良いのか、犬猫の殺処分を減らすために効率がいいのか考えていくべきである。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	第６回ゆいフィールコンサート
団体名	特定非営利活動法人　福祉住環境地域センター

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	日時　2013 年 7 月 27 日（土）1:30PM 開場　2:00PM 開演 会場　豊橋市民文化会館（豊橋市向山大池町 20-1）大ホール 参加者　366 名（有料参加者 294 名・無料参加者 72 名） 今年のテーマは「大地と悠久の旅立ち」 昨年、９ 月北海道で車の事故で急逝された山口理恵先生を偲び、先生にご縁深い出演者、関係者も含めて北海道を舞台に繰り広げました。 ・第３回とよはし音楽祭金賞受賞曲「僕たちの狂詩曲」（岩本恵理作詞作曲）他２曲。愛知県春日井市在住　人一倍強くて繊細な感性で、優しさ・苦しさ・汚さ・愚かさ・強さ・・・そんな“人間の心”を岩本恵理サンが熱演（うつ病から双極性障害） ・太田釈尊サンが爽やかに歌う（発達）。引きこもりから自立へ、ギターと北極オーロラ紀行が彼を変えた。歌うことが生きること。地域社会へメッセージを送り続ける田原のボーカリスト寺島祥史サンが熱演（車いす身体）　ゆいフィールコンサート過去２回山口先生とジョイント。 ・松島みどりサン（車いす身体）　急逝した娘の体験を綴ったオリジナル曲「あの日からずっと」をスロウ・トーンの協力で演奏。 ・山口理恵サンの音楽療法指導の後継者藤本逸子サンと牛田小秩子（身体）が懐かしい中田喜直作曲の曲を連弾します。 ・過去２回出演のオカリナの鈴木あきらサンが透明感のある調べをピアノ奏者加藤雅子 PSW とジョイントしました。 ・WAC 合唱団（精神・身体）は６月に北海道へ視察。偶然大沼公園で「千の風になって」の碑を発見。第１回とよはし音楽祭稲田貴久サンからの法人への寄贈曲「笑顔の花」を初披露しました。グループホームブリリアントの合唱団スターダスト（精神）が初参加しました。 総事業費：　422,915 円　（内補助金：　80,000 円）

事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	毎回問題点を改善しながら、第６回目を迎えています。障がい者と市民が一緒に作り上げるゆいフィールコンサートは、一定の評価は受けていると思いますが、知っている市民は、まだ一部かなと思います。 第１回約 230 名、第２回約 450 名、第３回約 460 名、第４回約 420 名、第５回約 400 名、第６回約 370 名の入場者が訪れています。 舞台の演奏や歌唱は、回を重ねるごとに、テーマは違っていても自画自賛かもしれませんが感動の舞台に仕上がっています。但し、演奏や歌唱にばらつきがあるのも事実です。 でも、ゆいフィールコンサートは「感動」を伝えるコンサートであると思います。毎年、運営や企画は新しいメンバーも加わるので、特に当日の運営は、反省ばかりですが、それも一人一人のチャレンジする力を育てる意味では、少しの失敗も次に一人一人が体験として育っていけばそれもありかなと感じています。ある意味、舞台の出演者も入場者もスタッフも満足して帰路に着けたか、来年もやろう、来年も来ようとするかにあるように思います。 どう変わったかは、立場により違いはあると思いますが、障がい者も市民も少しづつ成長していることは間違いないと感じています。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	同じように市民と障がい者が一緒に作り上げるコンサートとしては、とっておきの音楽祭（仙台市）があります。２ 年程前に東京で彼らと初めて出会いその存在を知ったわけですが、それ以後は、仙台市と豊橋市でこのタイプの日本の２大音楽祭に育っていけばいいなと感じています。彼らは街ぐるみで観客動員約 30 万人、バンド数 300（3,000 人）、ステージ 25 と規模は違いますが、我々も豊橋市が規制緩和して、協力頂ければ、向山公園内豊橋市民文化会館一体で夏のコンサートとして定着していけば、障がい者理解、偏見の解消が進むと思います。 来年も、第７回ゆいフィールコンサートを８月２日（土）豊橋市民文化会館大ホールで開催を予定しています。豊橋市の規制緩和と多くの市民の皆様の応援を期待しています。 当日の模様は http://www.barinavi.jp/　バリナビ TV で放映中です。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	第４回市民後見フォーラム
団体名	特定非営利活動法人　たすけあい三河

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	日時 2014 年 1 月 18 日（土）10:00～16:30 会場　豊橋市民センター　６階多目的ホール・５階大会議室 市民後見フォーラム　参加者 78 名（有料 62 名） 成年後見セミナー　参加者　Ⅰ10 名　Ⅱ12 名　計 22 名 個別相談　相談者６名　累計相談者 106 名 今回のテーマは、「市民による市民のための成年後見」の実践に向けて市民と行政そして支援機関もみんな一緒になって考えてみましょう！とした。当初、この地域で成年後見を推進するためのネットワークと支援の在り方について考えていたが、東三河地域の支援機関の協力が得られず、北海道内の地域連携のモデルを踏まえて、この地域にどのように生かしていけるかを模索する内容とした。併せて成年後見制度の国の考え方の原点及び市民後見人の地域の役割を考えてみた。 午前中の成年後見セミナーには、65 才から 75 才位の市民が多く参加されていた。Ⅰを入門でⅡを事例にした関係から、連続して受講された方も見えたが、そうでない方も半数いた。個別相談は、家族からの相談から養成講座への相談まで、幅広くあったが、件数的に少なかった。Ⅱを受講された方は、講師に対しての質問が多く和気あいあいとした空気が流れていた。 昼休み時間は、会場に南富良野町の活動 DVD を流していた。早めに来場された方は熱心に見ていた。 午後は、市民後見フォーラムが行われ、日本一成年後見を知る人、弁護士小池信行氏は、めざす成年後見と市民後見の必要性を的確に伝えていた。日本一の成年後見の町を作った人、前南富良野町の職員であった東啓二氏は、北海道内での各地で湧きあがる成年後見の動きを伝え、パワーポイントにはレジメにないスライドやデータもあり、参加者は熱心に聞き入っていた。対談形式のディスカッションでは、地域ネットワーク（弁護士司法書士各地域包括センター行政）と任意後見の必要性を強く感じた。 総事業費：446,330 円　（内補助金：250,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	豊橋市民の参加者の他に安城市や、春日井市など行政や社協の方が、参加され熱心に勉強されていたのが印象的でした。もう少し豊橋市の職員や施設職員、社協、地域包括など関係者の方が参加いただけるともっと、市民後見フォーラムの意図する目的に近づくことができたと思います。

今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	今後ともこのような「市民後見フォーラム」は毎年 1 回以上開催していきたいと考えている。なお、テーマとしては、今回は障がい者の成年後見を触れる機会はなかったが、他の府県の情報によると、認知症高齢者とは別に、都市部での活用は増えている状況にある。この地域でも、問題として取り上げていきたい。 また、昨年実施した「しあわせ終活フェア」の延長戦で、まちづくりと一体となった「街なか終活動フェスタ」にも取り組んでいきたい。元気な高齢者を対象に、情報提供と相談を中心に、成年後見制度の中でも遅れている任意後見にスポットをあて、①認知症になったら②体が不自由になったら③子供たちとどのように関係を作るか　エンディングに向けて考える機会を地域に作っていきたい。①については任意後見制度の利用を伝える。②については、委任契約や死後の事務委任契約を紹介したい。③については、遺言状や相続の在り方を伝えたい。認知症 462 万人。認知症 800 万人の時代。地域が安心安全な場として存在するか。修羅場と化すか。情報提供と相談を通して、成年後見制度と市民後見人の活動を伝えていきたい。急がねばならない。時間は待ってはくれない。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	外国人の子どもの教育支援
団体名	豊橋外国人児童生徒教育研究会

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	○第１回講座　H25.6.8　参加者 16 名 「外国人児童生徒の多角的な把握と活動を重視した指導」 前浜松市立瑞穂小学校教諭　近田由紀子氏 ○第２回講座　H25.7.26　参加者約 100 名（他団体と合同開催） 「日本語指導のプログラム」 財団法人波多野ファミリースクール理事　大蔵守久氏 ○第３回講座　H25.8.10　参加者 12 名 「JSL カリキュラムで創る学び」 東京学芸大学教授　斎藤ひろみ氏 ○第４回講座　H25.10.12　参加者 36 名 「フィリピンの教育制度を学ぼう」 神奈川県立国際言語文化アカデミア講師　梅田玲子氏 ○第５回講座　H25.12.7　参加者 22 名 「中学校での進路支援」 東京都北区稲付中学校教諭　小川郁子氏 ●学習会　H25.4.6／H25.5.18／H25.9.28／H26.2.15 ●会議　　H26.2.1 総事業費：320,572 円　（内補助金：98,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	①他団体の外国人の子どもへの取り組みから、様々なことを学んだ。また、連携の足掛かりを掴むことができた。 ②講座や学習会を通じて、参加者が外国人児童生徒教育の理論や実践を深めることができた。 ③実際に就労支援センターや、ポルトガル語教室など、子どもたちの困り感を解消する「行き場」を紹介することができた。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	【課題】 ①「外国人親子支援マップ」（平成 26 年度作成予定）を作成した後、それをどのように周知徹底していくか。また、他団体との連携をどのように維持していくか。 ②運営資金（自己資本金）の捻出方法。他の補助金への申請、寄付金の募集、一般への PR など。 ③市民ほか一般の方々へ、活動成果をどのように PR していくか。 【今後の取り組み】 ①3 年間学んだ参加者が、来年度以降講師として自前研修ができるように努力する。 ②「外国人親子支援マップ」の作成と幅広い頒布。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

ハード

事業名等	僕ひとり、まず一歩！夢見る夢夫　紅葉の遊歩路を！
団体名	石巻山・紅の会

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	①月１回の定期作業として 22、23、24 年の活動区域の草刈りを実施した（約 6,950 ㎡）。 ②発注工事１：23、24 年度の補助金で整地された 3,100 ㎡の湖水沿線 35m に転落防止策を設置した。（平成 25 年６月 10 日～18 日参加人数延べ：会員 11 名、業者６名） ③発注工事２:22 年度植栽地の湖水面に沿った 68m の低木を伐採して景観の向上を図った。㈱水資源機構の施設管理道路沿いの太い桜を保護のため５本伐採した（平成 25 年６月 23 日　参加人数：会員 13 名・ありんこの会３名・水資源機構４名・業者 15 名） ④発注工事の伐採木を薪ストーブ用に切断し、会員と希望者が搬出位置に集積（軽トラック 10 台分相当）。 ⑤市の苗圃を「三ツ口池広場」として造成するにつき、市との窓口を石巻校区自治会に 24 年度移行した。石巻校区自治会作業の「三ツ口池広場」の草刈り、伐採作業の支援に参加した。（平成 25 年６月 30 日　参加人数：会員３名・石巻校区自治会 35 名） ⑥石巻小学校「ふるさと探検」授業で“三ツ口池と会の活動”について授業依頼を受けて実施した。 ⑦活動区域外の伐採木を薪ストーブ用切断。乗用草刈機を購入し管理作業の効率化を進めた。 総事業費：788,017 円　（内補助金：650,000 円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	①湖水面に沿った６８ｍの低木を伐採して湖水の透視と石巻山の自然景観は向上した（景観の向上で周囲を散歩する人は増加したが、禁止の魚釣り行為者の増加となった）。 ②湖水沿岸３５ｍに作を設置したが、湖水岸の樹木を伐採できなかった。 ③豊橋市が平成２６年１月に“紅の会”の活動区域に隣接した「三ツ口広場」の工事に着手した。ここは従来の公園とは異質な、自然林の形態をなし子供たちと市民が、耕転、伐採など自由に活用のできる広場となる展望が見えた。これで“石巻山・紅の会”の目的が一歩進んだ。 ④２２、２３、２４年度に植樹したモミジの木が１０本ほど枯れた。潅水作業の未実施が原因だと思う。 ⑤発注工事２の作業を事前に校区回覧したが、参加者は少なく関係者による作業となった。 ⑥新規入会希望者が青陵校区から１名あり２１名となった。（平成２６年２月現在）

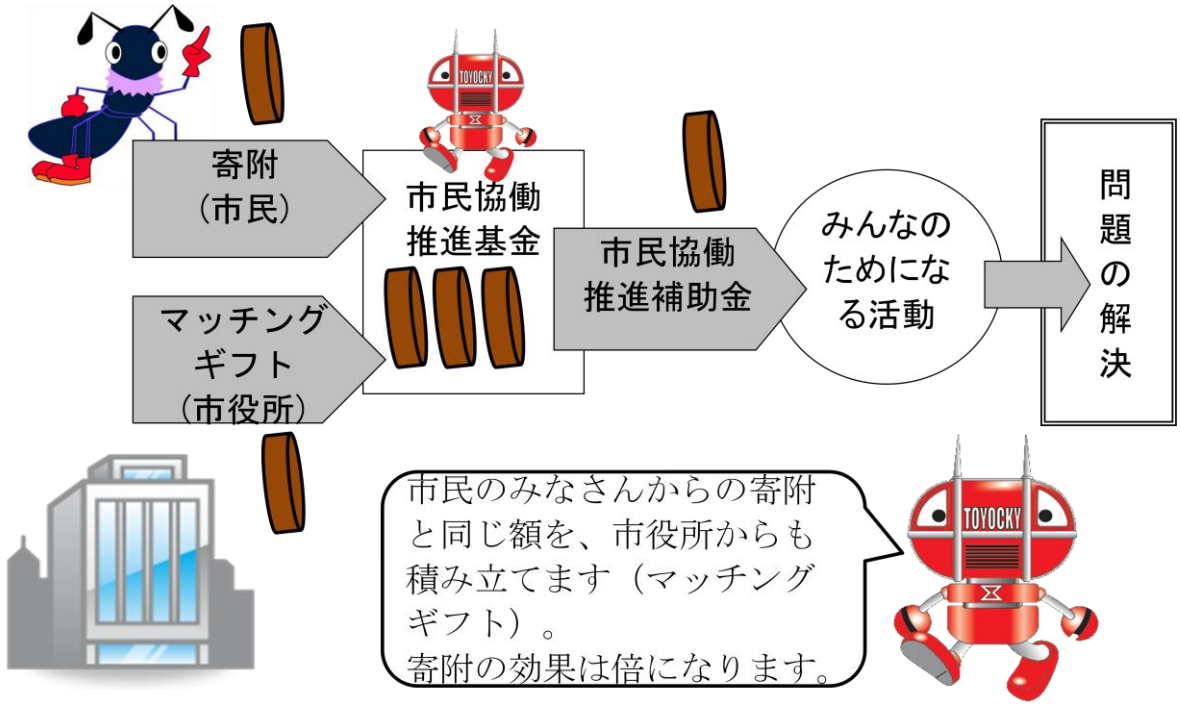
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	①２２、２３、２４，２５年度と補助金の交付で作業を進めたが、２６年度は石巻校区自治会が「三ツ口池広場」の管理作業を開始する。“石巻山・紅の会”はこの作業を補助的に支援する（２６年度は校区自治会への支援作業の負担程度を把握するため補助金の申請を断念した）。 ②枯れたモミジの植え替え作業、購入した乗用草刈機で過去４年間の活動区域の草刈り作業。 ③㈱水資源機構の土地使用期限が平成２６年９月に満了となるため、その後の管理を検討する。

平成２５年度市民協働推進補助事業　事業報告シート

事業名等	花園コミュニティ施設整備事業
団体名	花園街づくりネットワーク

項　　目	内　　容
事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	私たちは、約２年間、毎月花園マルシェというイベントを継続し、地域からの信頼を得るなどの成果の一方、マンネリ化で新しい風の必要性を感じていました。一過性のイベントで終わらず、人が集まれる場を作ることにより、次のステップに進みたい。そこで、花園商店街内の空き店舗を活用し、高齢者の憩いの場、青少年の居場所となる、人が集える場「花園ベース：HANACOYA」を整備しました。 本補助事業では、足腰が弱く目の悪いお年寄りの優先度が高い、トイレ洋式化と、天井改修による十分な明るさ確保を行いました。この工事で、とても居心地のよい施設が整備できました。 総事業費：８２０，６００円　（内補助金：７００，０００円）
事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	これまで花園商店街を訪れることがなかった人たちが、HANACOYAを通じて、商店街を訪れたり、関わるようになりました。 ◎高校生・浪人生：受験勉強の場として ◎大学生：サークル活動の場として - HANACOYA の設計・整備 - 3D プリンタなどのワークショップの実施 ◎若手社会人：アフターワークの団らん・まちづくり活動の場として - シャッターペイント - 地域活性化の座談会・勉強会 ◎地域の主婦の方々：地域の女性や子どもたちとの連携の場として - 子ども向けイベントの実施 - 中学校の総合的学習への活用
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	７月末にオープンした「花園ベース：HANACOYA」。できたばかりのころは、訪れる人も少なかったですが、ここ１、２ヶ月ほどで、裾野が少しずつ拡がり、最近はとてもいい流れができています。まずは、この流れを維持することを、第一に考えています。 更に、今後より多くの人に使ってもらえるように、現在、使用方法などのルールを整備しています。また、HANACOYA を使った、新しい企画も準備中で、まだまだ発展途上ですが、ますますおもしろい場所になること請け合いです。

トヨッキー基金



【アーリーくんが寄附してくれたお金は、倍になって「みんなのためになる活動」に使われます】
（市民協働推進補助金はトヨッキー基金（市民協働推進基金）から交付されています）

豊橋市　文化市民部　市民協働推進課
〒４４０－８５０１
豊橋市今橋町１番地(西館４階)
TEL：０５３２－５１－２４８３
FAX：０５３２－５６－５１２８
MAIL：shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp